aruba
a Hewlett Packard Enterprise company

HPE Aruba リーナ通信

vol. 36

失敗事例に学ぶクラウドWi-Fiの落とし穴
大輔が見た真実

皆様
日本ヒューレット・パッカードの重村リーナです。
本メルマガをご覧頂きありがとうございます。

先日友人とドライブに出掛けるときのこと。

仲のいい同期の久保ちゃん宅に数名で集まり、
そこからドライブに出発する計画だったのですが、
出発直前になって、“あずき”にせがまれまして。

あずきですか？
久保ちゃんの家で飼っているワンコの名前です。

犬は飼ったことがないのですが、なぜかキュンキュン来てしまい、
スマホで何枚も写真を撮ってしまった…

こちらがあずきです。

しっかりした美人さんの外見に輪をかけて、一緒に出掛けられると勘違いした
あずきのけなげな姿に大興奮してしまった私。
あずきが運転席に乗り込もうと必死のアピールをするではありませんか！！

か、かわいい！！

首がきゅっと詰まっている感じも、私的にストライクーッ！！

助手席にいた私に対して“一緒に連れて行ってくれ”と言わんばかりの
視線を始終送ってくる姿に、何とも言えない愛くるしさを感じたのでした。

この展開、連れていかねばなるまい…

と思ったものの、結局留守番してもらったんですけどね。

ごめんね、あずき。

Vol.34でお伝えした通り、クラウドWi-Fiに興味を持った大輔と美咲が、
実際に導入した企業へお伺いしてその使い勝手を聞き出すことに！
まあクラウド上で管理する仕組みなら、どこでもさほど変わらないのでは、
とお考えの方にこそぜひ読んでもらいたい、意外と大きな違いのあるクラウドWi-Fiの仕組み。
今回は、わざわざクラウドWi-Fiをリプレースした、
KAIZEN platform Inc.にお邪魔しています！ぜひお楽しみに！！

失敗事例に学ぶクラウドWi-Fiの落とし穴
大輔が見た真実

クラウドWi-Fiに興味を持った美咲と大輔。
ちょうど知り合いの会社がクラウドWi-Fiを導入したという情報を
聞きつけ、さっそく話を聞きに行くことに。

今回はKAIZEN platform Inc.にお邪魔して、クラウドWi-Fi導入の経緯やその落とし穴などについて聞いてみることに。
いやー、クラウドWi-Fi、ちゃんと選ばないと大変なことになるようで…。

大輔（だいすけ）

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD＆W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。

美咲（みさき）

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD＆W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。

美咲くん、行こうよ！

へ？どうしたんです、藪から棒に。
わざわざ本社まできて、急に外出のお誘いなんて。

この前説明したじゃない。
ちょうどクラウドWi-Fiを利用している企業に話が聞けるって、例のやつ。

ああ、ありましたね！調整ついたんですか？

お願いしたら、OKいただいたよ。私の人徳だね、きっと。
早速行ってみようよ。本社に寄ったのは、手土産代わりになりそうなお菓子がたくさんあると思ったからさ。お菓子メーカーって、こんなとき便利だね。

だから本社に…
それならちゃんと買っていきましょうよ、せっかくお話伺えるんですから。

それもそうだね。じゃあ、途中で定番の「東京ばな奈」でも買っていってみようよ！あ、交通費と手土産代は美咲くんのほう持ちでいいよね。

しっかりしてますね…
いいですよ、そんなに遠くないのでタクシーで行きましょ。

～移動～

じゃーん、さっそくお話を伺うのは、KAIZEN platform Inc.の須藤さんと海老澤さんです！早速お話を伺います。

よろしくお願いいたします。社内のバックオフィスを担当する部門の責任者をしています。海老澤も同じ部署にいますが、我々がオフィスITの選定など情シス的な役割も担っています。

よろしくお願いいたします。

こちらの会社はね、カイゼンしている会社なんだ。カイゼン。ねぇ、須藤さん？

大輔さん、何をしているのか、よくご存じなさそうですね。

簡単に紹介しますと、デジタルマーケティングの改善を行うプラットフォームを提供しており、ABテストを通じたWebサイトのUI改善などが主な事業になります。全国5000人以上のグロースハッカーと呼ばれるクリエイターの面々にプラットフォーム経由で発注できるような仕組みを提供しています。

すごい人数を抱えているんですね。えーと、その、何とかハッカーの方ね。

グロースハッカーですよ。デザインをも含めて商品・サービスの改善をモニタリングしていき、顧客とのエンゲージメントを高めながら商品・サービスを成長させていく人たち、という感じでしょうか。

あ、まあ、すごい人たちということでいいよね。
それにしても、またなんでクラウドWi-Fiを選択したんです？

以前からWi-Fiは利用していたのですが、そもそも社内にサーバーは一切設置していません。オフィスにはルーターやスイッチなどネットワーク機器があるだけ。すべてAWSをはじめとしたクラウド上のリソースを活用してインフラを整備しています。ですので、とにかくサーバーや無線LANコントローラを置きたくなかったのが背景にあります。

クラウド化については当然の選択だったわけですね。
でも今回が初めてではないとお聞きしていますが。

最初に導入したWi-Fiはオンプレミスでの運用でしたが、コンシューマ向けの仕組みだったこともあり、つながりにくく、現場からも不満の声が上がっていました。私もその問い合わせ対応や現場の調査に時間と手間を割かざるを得ませんでした。

当然ですが、須藤さんはWi-Fiだけを担当してるわけではないですもんね。

そうなんです。そこで、他の業務に影響しないよう、無線部分の運用管理をアウトソースしたいと考えたのです。そこで最初にクラウドWi-Fiとして選んだのが、某通信事業者が提供しているWi-Fiサービスでした。

えっと、確かシスコシステムズ社が提供している「meraki」のAPを利用したサービスだと記憶しています。

そうですね。無線運用がアウトソースできるサービスとして他に比べて安価でしたし、エンタープライズレベルで使えそうだと。
であれば使ってみようということになったのです。

実際使ってみてどうでした？

結局1年半ぐらい運用しましたかね。最初は順調だったんですけど、事業が拡大する中で従業員も増え、社員数が100名を超えたあたりから雲行きが怪しくなってきたのです。

つながりにくくなったと。

おっしゃる通りです。CPUのスペックが高くなかったこともあって処理が追いついていかず、1台当たりの接続数が限界を迎えていました。
たとえ台数を増やしたとしても、根本的な課題解決は難しいと判断しました。

台数を増やせば解決するもんじゃないですか？
アクセスを分散させればよさそうですけど。

複数のAP同士が連携して負荷分散してくれる機能が備わっていないため、電波強度の強いAPにみんな接続しに行ってしまうのです。SSIDを分けて運用すれば分散できますが、そうなると利用者側に負担を強いることに。本来なら、自動的に負荷を分散してくれるものが欲しかったのです。手動でやっていては、何のためにアウトソースしたのかわかりませんからね。

負荷分散の自動化、確かにわかるわー

大輔さんの業務を分散する必要はないですよね。
そんなに負荷かかってないですもんね。

そうね、その通りだね…って美咲くん、そのツッコミいる？
相変わらず厳しいね。

他にもあるんです。サービス事業者にアウトソースしている分、APのコンソールをはじめ詳細を直接確認する術がなく、トラブル時の詳細な情報が把握できません。また、configを利用者が直接変更できないため、何かあるたびにサービス事業者にお願いせざるを得ないのです。自分の工数とのトレードオフではあるのですが、もう少し柔軟に運用できないものかと。

トラブルがなければお任せでいいですけどねぇ。結局つながりにくくなると、須藤さんや海老澤さんのほうに結局問い合わせが来てしまうわけですね。

そうなんです。しかも、AP自身が電波干渉源を検知する機能がなく、チャンネルの自動調整があるものの期待する動作をしてくれないこともありました。
サービス事業者に調査をしてもらうと、チャンネル干渉しているのがわかるのですが、干渉チャンネルは動的に変わるため、抜本的な解決には至らないのです。

単純に便利だと思っていましたけど、クラウドWi-Fiって結構大変なんですね。

つながりにくい状況が続いていたこともあり、なかには個人所有のWi-Fiルーターを持ち込んで業務に利用する人も出てきてしまいました。

セキュリティ的に心配ですねぇ。

大輔さんがセキュリティを心配するなんて。ちょっと意外です。

心外だなー、僕だってセキュリティぐらい気にするさ。

Wi-Fiルーターが持ち込まれてしまうと、結局干渉源を増やすことになるだけです。そもそもつながれば持ち込みなんてなくなるのですが、そのためにさらにつながりにくい状況になるという悪循環に。実際には業務に支障が出てしまうこともあって、何か解決する手立てが必要になったのです。

なーるほど。そこで新しい環境に変えようと。

ちょうど4月に事務所移転を検討していたこともあり、須藤から新しい環境を整備したいという話がありました。そこで、いろいろ調べて見た結果、HPE Arubaさんを選ばせていただいたのです。

いよいよ核心の部分だね。なんでArubaだったんだろう。

それは次回詳しくお聞きしましょうよ。

文責：日本ヒューレット・パッカード ネットワーク事業統括本部 重村リーナマリー
監修：日本ヒューレット・パッカード ネットワーク事業統括本部 天野重敏

バックナンバー

- vol.35「WannaCryの対策がワカラナイ... HPE Aruba的ランサムウェア対策のススメ」
- vol.34「クラウドWi-Fiをコストから比較する！最適選びの勘所」
- vol.33「見えない現場の管理、障害対応はどうする？クラウドWi-Fiあるある」
- vol.32「安易に手を出すと後悔する！？クラウドWi-Fi選び」
- vol.31「オンプレなのに過剰な投資なくスモールスタート、それホント？」
- vol.30「それってリースじゃないの？フレキシブルキャパシティの秘密」
- vol.29「新サービス“フレキシブルキャパシティ”何がすごいの？」
- vol.28「端末を離さない“スティッキー対策”の有効打」
- vol.27「目に見えない無線LAN、音声品質を的確に把握する方法とは？」
- vol.26「ワークスタイル変革に最適な無線LANの心得」
- vol.25「また手作業？端末証明書の“セルフサービス化計画”を発動」
- vol.24「妨害電波を出すAPが登場！テザリングを無効化する技」
- vol.23「ClearPassが内部情報漏洩対策に？アクセス制御の極意を学ぶ！」
- vol.22「新シリーズ「ClearPassによる安全対策のイロハ」スタート！」
- vol.21「WAN回線の障害で認証できない... IAPならできる、そのワケ」
- vol.20「無駄にならないIAPという選択肢」
- vol.19「卓上APで工事費ゼロ、の衝撃」
- vol.18「計算し忘れたAP工事費の後始末～前編～」
- vol.17「SSIDを増やしてゲストに開放！遠隔地のAP設定に便利なツールとは？」
- vol.16「トラブル発生でも大丈夫！原因究明に役立つAirWaveログの実力」
- vol.15「他拠点への展開、遠隔地のAP管理もお手軽簡単に“見える化”」
- vol.14「失念していた予備APのバージョンアップ、その対処法は？」
- vol.13「30台のAP、LANにつなげるだけで自動設定できるスゴ技」
- vol.12「天井設置が要らないAP！？無線LAN工事のすごワザ」
- vol.11「コントローラ内蔵APが現場を救う！ 無線LAN導入のススメ」
- vol.10「予知できるから安心！無線LANトラブルの回避 トリガー設定編(4/4)」
- vol.9「予知できるから安心！無線LANトラブルの回避 トリガー設定編(3/4)」
- vol.8「大量通信の容疑者は誰だ！？無線可視化でわかること」
- vol.7「無線LANアラートの閾値設定の方法、教えます！」
- vol.6「マップから異常なAP、見つけた！！無線LAN障害の対処法」
- vol.5「チャネル使用率から原因を絞ってみると... 無線LANトラブル解析」
- vol.4「クライアントのヘルス値が下がった要因とは？無線LANの健康状態を探る」
- vol.3「無線LANがおかしい、21:30に何が起こっていたのか？」
- vol.2「見えるから解決！ 無線LANトラブル トラブル1 うまくつながらない！(2/2)」
- vol.1「見えるから解決！ 無線LANトラブル トラブル1 うまくつながらない！(1/2)」

aruba
a Hewlett Packard Enterprise company

HPE Aruba リーナ通信

vol. 37

「めちゃくちゃ便利」
カイゼン須藤さんが語るAruba Centralの魅力

皆様
日本ヒューレット・パッカードの重村リーナです。
本メルマガをご覧頂きありがとうございます。

暑いですね。

ちょっと前に関東も梅雨に入ったはずなのですが、
晴れ間をのぞかせる日も多くなっているようで。

きちんと水分や塩分をとって、熱中症対策をこまめに行ってくださいね。

さて、今日は大島オフィスにあるテラスからの1枚です。

忙しい日が続くと、ふと一息つきたくなるものです。
私が一息つくのは、決まってオフィスの最上階にあるテラス。
ここって眺めが最高にいいんですよねぇ。

特に夜はライトアップされたスカイツリーが大きく見えますし、
目を凝らせば東京タワーだって視界に収めることができます。

まあ、暴飲で憂さを晴らす日もあるんですけどねw

で、今回はそんな素敵な夜景をお届けします。

どうですかね、大島からの夜景は！

お越しいただいたことのある方であればご存知かと思いますが、
ちょっと都会からは離れた場所にオフィスがあるものの、東京全景がしっかりと
見渡すことができるのが、大島オフィスなんです。

実は一息つこうと外の景色を見ていたら、気付いた時にはすっかり暮れていたという次第で。

元気印なリーナですが、実は感傷に浸ることも少なくないんです。
いつの間にか時間が経過してしまったようで、私自身も驚き…

いかんいかん、今日は同期でも誘って飲んで帰ろうッと！

早めの夏バテでガソリン注入を余儀なくされているリーナがお届けしました！

前回に引き続き、KAIZEN platform Inc.にお邪魔してAruba Centralを利用したクラウドWi-Fiを採用した理由について取材した後編をお届け！似たようなクラウドWi-Fiでも注意が必要な、意外な盲点についても実際にお話しいただいています。ぜひご覧ください！

失敗事例に学ぶクラウドWi-Fiの落とし穴
大輔が見た真実

クラウドWi-Fiを導入した企業に話を聞きにきた美咲と大輔。
そこでクラウドWi-Fiの意外な盲点について貴重な話を聞くことができた。今はAruba Centralを利用したクラウドWi-Fiに切り替えて運用しているが、なぜHPE Arubaを選んだのか、導入後の運用はどうなのか、美咲と大輔が徹底的にヒアリング！
お話を伺うのはKAIZEN platform Inc.の須藤さんと海老澤さんだ！

大輔（だいすけ）

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD＆W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。

美咲（みさき）

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD＆W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。

ちょうど前回は、クラウドWi-Fiに関していろんな課題がある中で、事務所移転を契機に新たな環境に入れ替えようと。

そうですね、でそこで選んだのがArubaだったんですけど。

選んだポイントはどのあたりです？

Arubaを使っている知り合いから「とてもいい」という評判を聞いていました。実際に検討してみると、拠点にAPを送ってネットワークに接続すればゼロコンフィグで使い始められるとか、クライアントマッチと呼ばれる負荷分散機能があって最適な無線環境が作れるとか、とても便利な機能があることがわかったのです。たとえ拠点が増えたとしてもネットワークエンジニアを拠点ごとに置くわけにもいきません。できる限り簡単に、かつ快適な環境が作れる仕組みが欲しかった。それがArubaならできると。

値段がリーズナブルというのもポイントですね。うちはベンチャーですので、あまり大型で値の張るAPを買うのは難しいですから。

でも安かろう悪かろうでは意味がないわけでしょ。
お菓子はチープな味がまた良かったりするので、それもまた魅力なんだけど。

お菓子の話と一緒にしないでくださいよ。

いや、お菓子と絡めて話をした方が伝わるってもんだよ。

...いずれにせよ、ArubaならAruba Centralを使ってクラウド管理できますし、チャンネルの自動調整や負荷分散など現場の状況を自動的に判断して快適な無線通信環境に調整してくれる。コストも抑えながら負担なく運用できると考えたのです。

以前のクラウドWi-Fiの運用で課題に感じていた部分が解消できるということですね。実際運用してみていかがです？

現在はAruba Centralを管理コンソールに、3台のAPがオフィスで動いています。うちはリモートワークが認められているため、コミュニケーションツールとしてビデオ会議などが多く利用されています。ストリームのトラフィックは実際に多いものの、トラブルもなく快適に利用できています。

僕もオフィスでよくNetflixで動画見てるから、それはうれしいね。

仕事しましょうよ、大輔さん...
で、何の機能がうまく機能していそうでしょうか。

クライアントマッチは大きい気がします。どうしてもミーティングの際には特定の場所にPCが集まり、1台のAPにアクセスが集中しがちです。
それなりに負荷分散してくれており、快適に通信できていますから。

他にも便利な機能ってありますか？

ファームウェアのアップデートですが、メンテナンス画面からIAPを設定するだけで個別に実行できます。しかも、スケジューリングしておくことで業務時間外など適切なタイミングにアップデートできます。
これ、めちゃくちゃ便利ですよ！

社員が全員帰宅した後のオフィスで1人孤独に作業するの、絶対嫌だもの。
こういう機能はありがたいよね。

Aruba Centralについては、モダンなWebインターフェースで作られており、エンジニアリング目線でうれしいですね。また、今回のオフィス移転の際も、事前にAruba CentralでAPの設定を移転前のオフィスで行い、金曜日の夜にAPやルーターを持ってきてつなげるだけ。ルーターの導通確認後にAPをネットワークにつなげたら、すぐにアクセスできましたよ。

そんな簡単に？

これ、めっちゃいいと。移転作業で土日は徹夜を覚悟していたんですけど、さくっと終わったんですよね。しかも月曜日に出社してきて、PCを立ち上げるだけで社員は特別に設定することなく、すぐに業務がスタートできました。
現場の混乱も招くことがなかったので。

お話を伺っていると、本当に負担なく設定や運用ができており、快適な無線環境が利用者に提供できているようですね。

そこなんですよね。Arubaがいいと思っているのは、性能でモノを売っていないことです。管理の手間を軽減し、顧客満足度を高めるための仕掛けが用意されているのがとてもいいなと思っています。正直無線はもう十分高速ですので、性能ではなくいかに快適に使える環境が提供されるのかが重要なんです。

わかる、わかるわー、須藤さん。

急にどうしました？どこに共感したんです？

私もね、人は性能、つまり能力じゃないと。
快適な職場環境をどう作るのかが大事だと。

私のような癒しキャラがいてこそ、職場は円滑に動くんだなと。うん、うん。

すみません、大輔さんの言い分に共感できないんですけど…
無線は十分高速になっているので、ということが前提ですよ。
大輔さんもとっても能力が高い、ということが前提でないと…

細かいことはいいんだよ。

では最後に、今後はどんなことをしてみたいとお考えですか。

野望はありますよ。Aruba Centralが持っているAPIを利用し、接続情報をGETしたうえで社員のPCが持つMacアドレスをDB化することで、自ら入力したり打刻行為をしたりせずとも出退勤管理ができるような仕組みを考えたいですね。

やっぱり入力は手間ですもんねぇ。

そうですね。OAuth認証なども含めて、APIオリエンテッドなインフラ環境を今後も推進していきたいと考えています。あとは海外拠点などを作る際にはArubaのAPをばらまいて日本からコントロールできればと。
他にも、AppRFを利用してアプリケーションの利用状況などトラフィック分析もしたいですね。つながらなかったときの判断材料としても活用できるはずですから。もちろん、エンジニア出身だからこそ単純に知りたいという興味本位の部分も大いにありますが（笑）

まだまだいろいろ活用できそうですね。貴重なお話ありがとうございました！！

バックナンバー

- vol.36「失敗事例に学ぶクラウドWi-Fiの落とし穴・大輔が見た真実」
- vol.35「WannaCryの対策がワカラナイ… HPE Aruba的ランサムウェア対策のススメ」
- vol.34「クラウドWi-Fiをコストから比較する！最適選びの勘所」
- vol.33「見えない現場の管理、障害対応はどうする？クラウドWi-Fiあるある」
- vol.32「安易に手を出すと後悔する！？クラウドWi-Fi選び」
- vol.31「オンプレなのに過剰な投資なくスモールスタート、それホント？」
- vol.30「それってリースじゃないの？フレキシブルキャパシティの秘密」
- vol.29「新サービス“フレキシブルキャパシティ”何がすごいの？」
- vol.28「端末を離さない“スティッキー対策”の有効打」
- vol.27「目に見えない無線LAN、音声品質を的確に把握する方法とは？」
- vol.26「ワークスタイル変革に最適な無線LANの心得」
- vol.25「また手作業？端末証明書の“セルフサービス化計画”を発動」
- vol.24「妨害電波を出すAPが登場！テザリングを無効化する技」
- vol.23「ClearPassが内部情報漏洩対策に？アクセス制御の極意を学ぶ！」
- vol.22「新シリーズ「ClearPassによる安全対策のイロハ」スタート！」
- vol.21「WAN回線の障害で認証できない… IAPならできる、そのワケ」
- vol.20「無駄にならないIAPという選択肢」
- vol.19「卓上APで工事費ゼロ、の衝撃」
- vol.18「計算し忘れたAP工事費の後始末〜前編〜」
- vol.17「SSIDを増やしてゲストに開放！遠隔地のAP設定に便利なツールとは？」

- vol.16「トラブル発生でも大丈夫！原因究明に役立つAirWaveログの実力」
- vol.15「他拠点への展開、遠隔地のAP管理もお手軽簡単に“見える化”」
- vol.14「失念していた予備APのバージョンアップ、その対処法は？」
- vol.13「30台のAP、LANにつなげるだけで自動設定できるスゴ技」
- vol.12「天井設置が要らないAP！？無線LAN工事のすごワザ」
- vol.11「コントローラ内蔵APが現場を救う！ 無線LAN導入のススメ」
- vol.10「予知できるから安心！無線LANトラブルの回避 トリガー設定編(4/4)」
- vol.9「予知できるから安心！無線LANトラブルの回避 トリガー設定編(3/4)」
- vol.8「大量通信の容疑者は誰だ！？無線可視化でわかること」
- vol.7「無線LANアラートの閾値設定の方法、教えます！」
- vol.6「マップから異常なAP、見つけた！！無線LAN障害の対処法」
- vol.5「チャネル使用率から原因を絞ってみると… 無線LANトラブル解析」
- vol.4「クライアントのヘルス値が下がった要因とは？無線LANの健康状態を探る」
- vol.3「無線LANがおかしい、21:30に何が起こっていたのか？」
- vol.2「見えるから解決！ 無線LANトラブル トラブル1 うまくつながらない！(2/2)」
- vol.1「見えるから解決！ 無線LANトラブル トラブル1 うまくつながらない！(1/2)」